
第2回経営協議会 議事要録

日 時 平成22年6月8日(火) 13:00~15:33
場 所 「特別会議室」(本部棟2階)
出席者 田中議長, 西園, 山下, 清水, 石塚, 長岡, 菴谷, 泉, 坂田, 村田の各委員
(柿内委員及び福家委員は欠席)
陪席者 長地監事(森田監事は欠席)

議事に先立ち, 田中議長から, 経営協議会開催にあたっての挨拶があった。

また, 田中議長から, 審議事項(1)「平成21年度業務実績及び中期目標期間業務実績報告書について」及び審議事項(3)「平成21年度決算について」に関連して, 報告事項(1)「平成21年度監事監査結果報告について」を先に報告する旨説明があった。

議 事

○ 審議事項

(1) 平成21年度業務実績及び中期目標期間業務実績報告書について

田中議長から, 資料1「平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書(案)」に基づき, 文部科学省へ6月末までに提出する平成21年度の業務実績について説明があった。その後, 西園理事, 山下理事及び清水理事から補足説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認された。

また, 提出にあたり, 修正等が必要となる場合には学長に一任することで了承された。

(2) 平成20, 21年度中期目標達成状況報告書について

田中議長から, 資料2-1「現況分析における顕著な変化についての説明書(教育)」, 資料2-2「現況分析における顕著な変化についての説明書(研究)」, 資料2-3「学部・研究科等の現況調査表(専門職学位課程)」及び資料3「平成20, 21年度中期目標の達成状況報告書」に基づき, 大学評価・学位授与機構へ6月末までに提出する平成20, 21年度の達成状況報告等について説明があり, 審議の結果, 原案どおり了承された。

また, 提出にあたり, 修正等が必要となる場合には学長に一任することで了承された。

なお, 審議の際に出された意見は以下のとおり。

[◇: 委員の意見, ◆: 大学側の回答]

◇ 授業評価において, 学生からの厳しい評価に対し, 授業改善策を検討させること等は, 重要なことだと思う。

- ◇ 授業評価の回収方法等は、学生に周知しているか。
- ◆ 学生へはアンケート（マークシート）用紙のみを配付し、口頭で説明している。各担当教員に対してのみ、実施要項を配付している。
- ◇ 授業評価は、ウェブを活用して回答できないか。
- ◆ 個人が特定されることがないように、ウェブによる回答は行っていない。

(3) 平成21年度決算について

田中議長から、資料4-1〔平成21年度決算報告書〕、資料4-2〔平成21年度財務諸表〕、資料4-3〔平成21年度事業報告書〕及び資料4-4〔独立監査人の監査報告書〕に基づき、平成21年度の決算状況について説明があった。その後、清水理事から補足説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、決算、財務諸表等は6月11日までに文部科学省へ提出する旨、併せて説明があった。

○ 報告事項

(1) 平成21年度監事監査結果報告について

田中議長及び長地監事から、資料6〔監事監査結果報告書〕に基づき、平成21年度監事監査結果について報告があった。

(4) 平成23年度概算要求について

田中議長から、資料5〔平成23年度概算要求事項（案）〕に基づき、平成23年度概算要求事項について説明があった。その後、清水理事から補足説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、概算要求事項の優先順位及び文部科学省との折衝過程において要求内容を修正する必要がある場合の対応については、学長に一任することで了承された。

なお、審議の際に出された意見は以下のとおり。

- ◇ 「地域貢献機能の充実」において、「こどもの地域力」とあるが、具体的にはどのようなことか。
- ◆ 地域の文化財等を生かして、子どもの力を伸ばすことを目的とした新規プロジェクトである。
- ◇ 地域社会における活性化を図る観点からも、本取組みについては期待する。より明確に示してはどうか。
- ◆ 事業評価等を策定するにあたり、徳島県教育委員会等とも相談・調整している。
- ◇ 鳴門市として協力できることはないか。
- ◆ 県の文化財を中心とした取組であることから、今後、市町村教委との連携は、県教委と相談の上、対応したい。
- ◇ 学生も参加出来るようにしてもらいたい。

- (5) その他
特になし。

○ 報告事項

(2) 平成22年度競争的資金への応募状況等について

田中議長（補足：山下理事）から、資料7〔平成22年度大学教育・学生支援推進事業大学教育推進プログラム申請書（様式）〕に基づき、平成22年度の競争的資金への応募状況等について報告があった。

(3) 平成22年度会計監査人の選任について

田中議長から、口頭により、平成22年度会計監査人の選任結果通知があり、本学が選定し推薦した「新日本有限責任監査法人」が選任された旨の報告があった。

(4) その他

特になし。

以上の報告の後、田中議長から、前回の経営協議会において出された意見等については、役員会等で鋭意検討中であり、後日、改めて報告する旨、説明があった。

引き続き、学外委員との間で、以下のとおり意見交換があった。

- ◇ 大学全体のブランディングを検討の上、大学の活動をより積極的に情報発信すべきである。
- ◇ 生涯学習の観点から、退職者等へアピールする広報も考えてはどうか。
- ◇ 京都工芸繊維大学では、地元新聞記者へ、大学の活動等情報を逐一提供しており、地域からも注目を得られるよう取り組んでいる。
- ◇ 兵庫教育大学・上越教育大学とは異なる、鳴門独自のイメージを創出して欲しい。
例えば、地域の文化・伝統の継承・発展も含めた「阿波学」、遍路GPの取り組みや、「渦潮」を通じた自然系教育活動等、全国へも発信できるものを考えて欲しい。
- ◇ 鳴門市観光協会でも、全国へ発信する観点から、種々取り組んでいる。協会とのコラボレーションも検討に含めてはどうか。
- ◆ 本学の広報は、これまで内向的であったかもしれない。地域も注目し、全国へ発信する鳴門独自のブランドについて、今後検討していきたい。

田中議長から、次回の経営協議会は9月下旬に予定している旨の説明があり、閉会となった。